



千葉市議会議員

たばた直子

議会報告
レポート
VOL.31



一般質問しました。 家族介護者の支援について

【質問】 本市における家族介護者の現状と課題について

【市の答え】 平成 28 年に在宅の要支援・要介護認定を受けている任意の 1,000 人を調査。子 50% 配偶者約 30% 女性 2:男性 1 50 歳以上が 90%以上「外出の付き添い、送迎等」、「掃除、洗濯 買い物等」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」をしている。生活支援に加え、**認知症状に関する不安**を抱えている。要介護度が高くなるにつれ、身体介護に移り、負担が大きくなる傾向。**要介護度が高くても在宅生活を支えられるよう、さらなる介護サービスの充実が必要と認識。**

【質問】 家族介護支援事業について、実施事業と実績、課題

家族介護支援事業

■ 家族介護者支援センターにおいて
千葉県ホームヘルパー協会に委託

- 家族介護者研修
- 電話相談
- 訪問レッスン〈介護の技術をヘルパー資格者が訪問して無料で指導〉



【市の答え】 昨年度実績「家族介護者研修」開催 7 回、参加者 62 人、「訪問レッスン」60 件、「電話相談」345 件。概ね介護技術に関する問題や不安が解消したとの高い評価を受けているが、知らなかったという声をいただくことから、周知方法を工夫する必要がある。

【質問】 男性介護者・ヤングケアラー（家族を介護している子どもや若者）の把握や、支援についてどのように進めていくのか

【市の答え】 実態把握することが重要と考え、高齢者保健福祉推進計画を策定する際に実施する在宅介護実態調査において、実態把握に努め、家族介護者支援センターを通じて、有効な支援を進める。

【質問】 認知症カフェなどの現状と今後の支援について

【市の答え】 認知症カフェは、平成 29 年度末現在、**26 か所**で運営。**約 5 万 6 千人**の認知症サポーターを養成しているが、認知症カフェや「認とも」など活躍の場に繋げることが課題。新規開設及び運営を継続するための費用を助成することで、増設を図る。認知症サポーターがボランティアとして活躍できるよう、ステップアップ講座を今年度新たに開催する。

認知症カフェの様子



【質問】 市内企業に対し介護離職防止策をどのように働きかけているのか

【市の答え】 企業が働き方改革に取り組み、多様な働き方を導入する必要があることから、企業の意識改革が重要。昨年度から千葉県と連携して、市内企業の労務担当者に対する「働き方改革セミナー」開催に着手。開催回数や周知方法などを工夫し、意識改革に取組む企業を増やすための取組みを進める。

【質問】 家族介護者の負担軽減のための介護に関する情報発信の工夫や手続きの簡素化などの取組みについて

【市の答え】 被保険者証や認定結果通知書の送付に併せ利用に関する案内や、あんしんケアセンターを紹介するリーフレットを同封し、周知。出前講座等により介護保険制度の情報発信。要介護認定の申請は、郵送で申請するほか、ケアマネジャーやあんしんケアセンターの職員が、代行して手続きが可能。福祉用具購入費や住宅改修費は、原則として償還払いだが登録事業者との契約により自己負担分だけを事業者を支払う「受領委任払い」とすることも可能。

【質問】 在宅で介護する家族介護者の支援強化が必要不可欠と考えるが、今後、どのように支援をしていくのか

【市の答え】 家族介護者支援センターにおいて、直接的な支援はもとより、必要な情報を提供するなど、より一層、懇切丁寧な対応に努める。また、訪問介護やデイサービス・ショートステイなどの介護サービス、地域で生活支援やサロン、認知症カフェなどを行う各種団体の育成を積極的に行い、支援の強化に努める。

美浜区の認知症カフェ

● 和みかふえ

美浜区高洲 1-16-46 cafe どんぐりの木
043-277-2639

- 毎月第三日曜日 13:00~16:00
- 第四土曜日 14:00~16:00



「和みのかふえ」

● てらすカフェ

美浜区真砂 3-18-1 検見川マリンタウン団地管理組合管理棟 043-278-1778

- 毎日9:00~17:00

「ベイトウンかふえ」

● ベイトウンかふえ 地域活動支援センター

- 毎月第二水曜日 13:30~16:00

● まちかど談話室「寄ってコ!」

美浜区高洲 2-1-7 高洲第 1 団地第 2 集会所 043-277-1212

- 毎月三回火曜日 10:00~15:00

● ほっとカフェくるみ

美浜区磯辺 1-9-19 地域活動支援センター くるみ
043-270-1588

- 毎週月・水・木・金曜日 13:00~16:00



★生活支援マップ

https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/hokatsucare/documents/mihamaward_gaiyo.pdf



【質問】 学校現場において、ヤングケアラーを発見した場合の対応について

【市の答え】 児童生徒が家族の介護等により、学校生活等の日常生活に著しく支障が出るようになってきている状況を把握した際には、**児童相談所等の関係機関に連絡するとともに、地域の民生委員・児童委員に情報を提供し、家庭への見守りを働きかける。** また、児童生徒が円滑な学校生活を送るために、必要に応じて**スクールソーシャルワーカー**の派遣を要請するなど、関係機関とのネットワークをもとに支援を行う。

【質問】 家族介護が必要となった千葉市職員の休暇制度の取得実績と市の取り組みについて

【市の答え】

平成29年度の取得実績

- 介護休暇：男性7人、女性19人 計26人
 - 短期介護休暇：男性111人、女性146人 計257人
 - 1日の勤務時間の一部を勤務しないことができる「介護時間」：女性のみ3人
- 短時間での取得事例も。職員が介護休暇や介護時間を一定期間以上取得する場合には、代替として非常勤職員を雇用できるほかポスト職は、介護などの事情によって、職員本人の希望により下位の職に降任した場合に、**事由解消後に再び元の職に復帰できる柔軟な昇任制度を導入**するなど、環境整備に努めている。



たばた直子の意見要望



- 介護者の現状を把握し、ニーズに対して的確な支援を行うこと。
- 認知症カフェを含む家族介護者の居場所は、介護者の集いの情報を把握・集約化し、介護者の交流拠点として発展させることが必要。
- 認知症カフェの周知を保健福祉センターやあんしんケアセンターその他公共施設での広報や、ケアマネ・ヘルパー等、介護事業者病院、薬局で行い、認知度を高めることが必要。
- 認知症カフェの公共施設での開催等や「認とも」の実施を検討すべき。
- 生徒・学生などを含めた若者の家族介護者支援体制の構築。
- 介護情報を収集する負担軽減のため、ポータルサイト等、情報集約化。
- 家族介護者支援は、社会福祉協議会等と連携し、様々な形で包括的に支援に取り組むことが必要。
- フォーマルケアの充実はもとより、インフォーマルケアの支援を!

ご意見お待ちしております!

● お名前 _____

● ご住所 _____

● TEL/e-mail _____

* 皆さんのご意見をお寄せください。地域の課題等お知らせください。
ご意見メモ▶



FAX : 043-216-3891 までお送りください

風疹ワクチン予防接種費用助成が11月24日から始まっています。

今年、首都圏では、風疹が大流行しており、罹ると、胎児に障害が残ることから、妊婦さんへの感染が懸念されています。私ども会派が、風疹流行に伴う対応の要望書を市長に提出したところ、他市に先駆け、MRワクチンへの助成事業が開始されました。

■助成額：6,600円 ■自己負担額：3,000円

※1人につき1回限り
※10月15日～11月23日までの接種は償還払い

要望書要旨

1. 成人に対するMRワクチンの費用助成を早急を実施すること。
2. 成人対象者の接種を受けやすい機会づくりを設けること。また、職場と連携しMRワクチン接種の啓発を推進すること。
3. 小児のMRワクチン接種率の100%をめざし取り組むこと。

高齢者保護情報共有サービスを開始しました。

認知症による徘徊症状がみられる高齢者の行方不明が増加しており、新たな見守り支援体制を開始しました。

市長に来年度の予算要望書を会派として提出しました。

意見交換の場では、私からは家族介護者支援の充実、介護離職防止、既存ストックを活用した街づくりなどを提言させていただきました。



発行：たばた直子事務所
 住所：〒261-0011 千葉市美浜区真砂3-4-2F
 千葉海浜交通 稲毛海岸駅発～稲毛駅行きバス 真砂第三公団バス停前
 TEL：043-216-3861 FAX：043-216-3891
 メールアドレス：info@tabatanaoko.com
 ホームページ：http://tabatanaoko.com